



## ◆トピックス ー実施した行事、イベントなどをお伝えしますー

### 第1回とちりハまつりを開催しました！

とちりハまつりを10月3日（水）に開催しました。

今年4月に独立行政法人化して初めての開催でしたが、秋晴れの中多くの方にご来場いただきました。

開会式には、栃木県のマスコットであるとちまるくんのほか、ルリちゃん、ナイチュウも駆けつけて子ども達は大喜び、一緒に記念撮影も行いました。

会場には、水ヨーヨーやお手玉ゲーム、リハビリ体験、障害のある方が作ったパンなどの販売、駒生園とわかくさ特別支援学校の作品展など様々な出展があり、訪れた方々に楽しんでいただきました。

メインステージでは、バルーンパフォーマーキャサリンさんによる



歌う海賊団ッ！♪

最後に、マロニエウインドオーケストラによる演奏がありました。マロニエウインドオーケストラは栃木県職員による楽団で、色々なイベントで演奏活動を行っています。「栃木県民の歌」を皮切りに、アンコールも含め計7曲の演奏が行われ、会場からは大きな拍手が響き渡りました。

とちりハまつりは、利用者やその御家族、地域の方々などに参加いただき、楽しい時間を過ごしていただくとともに、交流を通じてセンターへの理解を深めていただくために開催しているものです。

今度とも、このようなイベントを通じて、センターをより身近に感じてもらえるようにしていきます。



キャサリンさんのバルーンショー♪

バルーンショーが開催されました。キャサリンさんは、全国で活躍されている日本でも数少ない女性パフォーマーの一人です。大好きなキャラクターや動物がバルーンでどンドンと作られていく様子はまるで魔法のよう！子どもたちは最後まで目をキラキラ輝かせていました。

続いてメインステージに登場したのは「歌う海賊団ッ！」です。「歌う海賊団ッ！」は、全国各地で「子どもを笑顔に、そして、パパ・ママを応援する」コンサート活動を行っているファミリーエンターテイメントグループで、今年で結成13年目を迎え、公演回数は延べ1,000回以上になります。

「歌う海賊団ッ！」が登場し、船長さんが歌い始めると、子ども達や保護者の皆さんも一緒に歌い出し、会場はとても盛り上がりました。公演後の海賊さんとの写真撮影でも、皆さんに笑顔が溢れていました。



マロニエウインドオーケストラ♪

## 職員全体研修を開催しました！



星野理事長

今年の4月に新たに地方独立行政法人として歩み始めた当センターですが、改めてその使命、進むべき方向等を職員全体で確認・共有することを目的として、10月2日（火）に「職員全体研修」を開催しました。

星野理事長による「独法化 ～われわれのミッション～」と題した講演が行われ、当センターの沿革や設置目的、期待される役割等の概説とともに、目標達成に向けて、各職員の不断の取り組みが不可欠であること等の話がありました。

参加者は、改めて当センターの地域社会における使命と、経営参画意識の重要性を認識するとともに、当センター職員としての自覚を新たにしました。



熱心に聴き入る職員

## 「とちぎヘルスケア産業フォーラム」が開催されました！

9月18日（火）に、当センターで「とちぎヘルスケア産業フォーラム（栃木県産業労働観光部主催）」の第3回部会が開催されました。

このフォーラムは、ヘルスケア関連事業に取り組む県内の企業や団体を支援するものです。当日は星野理事長による基調講演やリハビリテーションの現場見学、当センターの医師・看護師・療法士によるニーズ発表等で、参加企業・団体の皆様にリハビリテーションに関する様々な情報を提供させていただきました。

今後とも県内のヘルスケア産業へ情報を発信し、新たな医療機器の製品開発等に貢献していきます。



リハビリテーションの現場見学

## 子ども総合科学館に行きました！

9月26日（水）、こども療育センターの子ども達が遠足で栃木県子ども総合科学館に行ってきました。

不思議な部屋に入ったり、音の鳴る階段を歩いたり、子どもたちにとって初めてのことばかり。驚きながらも、とても楽しんでいました。また、ボールプールや長いすべり台では、職員と一緒に思いっきり体を動かして遊び、笑顔でいっぱいになりました。

とても素敵な思い出を、たくさん作ることができました。



ボールプール楽しいねっ！



## サーカスを見ました！

8月7日（火）に「小さな小さなサーカス団タラッタラッタ」のヨシ君とナナちゃんが来てくれました。

去年から楽しみにしていたこども療育センターの子どもたちは、普段は見る事ができない、ジャグリングやバルーンアートに目を輝かせていました。こども発達支援センターの子どもたちや、外来患者さんなども見に来てくださり、とても盛り上がりました。

子どもたちもショーに参加して、大喜び。また、お二人からアートバルーンをプレゼントしていただき、とても心に残る一日となりました。

団長のヨシ君、ピエロのナナちゃん、本当にありがとうございました♪



ボールキャッチ！はらはらどきどき。



よーし、がんばるぞー！

### 連載 診療部 (第1回)

## 廃用症候群 (disuse syndrome) とは

なんとなくは理解していても、言葉にすると難しい疾患で、「身体を動かさないことにより、筋骨格系、呼吸器・循環器系、精神神経系などに障害（機能低下）を起こし、日常生活自立度が低下した状態」のことです。

### 【要因】

廃用症候群の要因は、内的要因と外的要因に分けられます。

#### ■内的要因

罹患している疾患（持病）のために、体を動かすことができない状態が続く場合。たとえば、脳梗塞による麻痺、喘息・肺疾患による呼吸苦や心不全、抑うつ状態などのために、体を動かさない状態が挙げられます。

#### ■外的要因

自分では体を動かせるが、治療などのために安静・臥床を指示されている場合で、骨折後のギプス固定中などが挙げられます。

### 【筋力低下】

筋力は、日常生活（立位・歩行・座位維持など）において、多くの筋肉を使用することで維持されています。安静・臥床では初期に約1～3%/日、10～15%/週のペースで筋力低下が起こり、3～5週間では約50%の筋力低下が起こると言われています。

廃用症候群は長期臥床が原因となりますが、実際に高齢者では2、3日～1週間くらいで生じることが多く、理論的な低下スピードよりも、想像以上に早い段階で出現していることを認識する必要があります。

### 【予防】

今の日本は高齢化が進み、病院での治療対象者は超高齢者が少なくないのが現状です。超高齢者の治療では、内科・外科疾患いずれの治療を行うにしても、合併症予防が大切であり、その一つとして廃用症候群の予防が大きな目標となります。

しかし、十分な配慮なく積極的に高齢患者を動かし、転倒などのトラブルを起こすこともあるので、病気の治療だけでなく、安静によって寝たきりになるリスクを、患者や患者の家族にしっかりインフォームド・コンセントすることが大切です。

## インフォメーション

### ○障害者自立訓練センターの御案内

障害者自立訓練センター（愛称：駒生園）では利用者が住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、生活支援員や療法士、看護師が協力して支援しています。

具体的には利用者の障害に応じ、身体機能を維持するための多角的な訓練や自宅での生活を想定したきめ細かな訓練を行っています。

また、公共交通機関を利用する外出訓練や利用者が一人で外泊する訓練を実施しています。「自分でできる」だけでなく、周りの人のサポートを利用することも、自立に向けての一歩になると考えた支援をしています。



外泊訓練に出発する利用者



内服薬カレンダーセットする利用者

(駒生園)

### ○こども療育センター日中一時支援・短期入所事業の御案内

こども療育センターでは、在宅で生活する障害児と保護者を支援するために、指定障害福祉サービス事業所として日中一時支援・短期入所事業を実施しています。

利用対象は主に肢体不自由や人工呼吸器使用等の、医療的ケアが必要な18歳までの障害児になります。

利用時には、できる限りリラックスして過ごせるように環境を整え、同年代の子どもと関わりが持てるように配慮し、保護者にも安心していただけるように支援しています。

(こども療育センター)

### ○「出前講座」を利用しませんか

栃木県立リハビリテーションセンターでは、地域の医療機関や介護・障害・保育施設等の職員、利用者の家族、学校関係者などに、「出前講座」の形で、当センターのスタッフが有している医療情報や知識を提供しています。

テーマは、日常生活における介助の仕方や安全な歩行介助、車いすの上手な使い方と安全な移乗介助、食べやすい調理、家の改修など様々です。

当センターのスタッフが出向き、現場で役立つ具体的なお話（一部実技）をします。

会場の借上げ費用等は申込者の負担ですが、スタッフの派遣費用や交通費は無料ですので、ぜひご利用ください。ご連絡は下の電話番号まで

(総務課)

(発行) 地方独立行政法人  
栃木県立リハビリテーションセンター  
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1  
TEL 028-623-6101 (代表)  
FAX 028-623-6151  
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>



©本冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています。  
※ユニバーサルデザインフォント…年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が読みやすく、誤読されにくい書体です。